

年頭のご挨拶



一般社団法人
日本電気工事士協会
会長

河合鉄雄

新年明けましておめでとうございます。

会員ならびに関係各位におかれましては、今年も穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様には、平素から格別なるご支援・ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

お陰様にて、昨年の当協会における諸事業はつつがなく進行いたしました。本年も引き続き倍旧のご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

わが国では、平成の世も今年で30年目を迎えるに至りました。その間、大地震や大津波・原発事故・集中豪雨・火山噴火等々かつてない未曾有の大災害に見舞われ、消費税導入やバブル経済崩壊・リーマンショック等による国内景気の長引く低迷等、未だ記憶に新しい事象が数多くありました。しかしながら、その後の懸命な努力により災害復興も着実に進んでおり、最近では業種によっては人手不足の状況が続いているなど雇用情勢も徐々に持ち直しつつある中、政府による「働き方改革」も提唱され建設業界としても変化を求められています。また、大手企業による設備投資の回復も見られなど、国内景気もスローペースながら回復基調にあると公表されております。

一方、スマートフォンの急速な普及やIoT・AIの発展等インターネット情報化社会が益々加速し、社会のあらゆる方面において、今や時間や国境を越えた多種多様な膨大な情報量が氾濫する高度な情報化社会となりました。これが、人々の生活様式や価値観の多様化にますます拍車をかける要因となっております。

同時に世界は今、ますます混迷を深め、わが国を取り巻く周辺環境も一段と厳しいものがあります。その危機感と緊張の度合いはかつてなく大きく、国内景気にも大きな影響を及ぼす要因となるため、今後の国際情勢にも目が離せません。

また、つい先日の報道によると、来年4月30日に

は現天皇陛下がご退位され、元号も改元されることになると報じられました。

このような状況から見ると、平成30年は、正しくわが国にとって一つの時代の大きな転換期に当たる年になることでしょう。

さて、2年後にはいよいよ待望の東京五輪が開催されます。これを受けて建設業界では、各施設の工事が急ピッチで進んでいるものと思われ、加えて新規住宅建築や改修工事、各地駅前ビルや商業施設・商店街・交通網の再開発改修工事、高経年化に伴うインフラ設備改修工事等も重なり、皆様ますますご多忙の毎日と推察いたします。

また施工に際しては、普及が進む省エネ機器(LED照明・太陽光発電システム利用等)やスマートシステムとの連動に伴う新知識・新技術も求められることになり、電気工事士に期待する役割はより一層高まることと思われまます。

こうした時期だからこそ、どうぞ皆様限られた時間・納期にあっても安全作業には十二分にご留意されますようお願いいたします。

最近の電気事故の発生状況を見ると、事故件数は安全教育も功を奏し減少傾向にあるようですが、相変わらず感電死傷事故も発生しているのが現実です。電気に関わる火災発生件数は、逆に増加傾向を示しているとのデータが公表されております。その原因は、使用方法に問題がある場合や、施工後の器具等の高経年化に起因するものの他、施工不良そのものに起因するものがあることも見逃せません。

当協会といたしましても、中堅人材向けの職長および安全衛生責任者教育の実施を初め、新に新卒・新人向けの安全衛生基礎教育の場の提供、高圧ケーブル端末処理認定講習等の技能教育、電気工事士を志す若手人材受験準備講習会、施設見学会等の充実に向け今後とも最大限注力すると同時に、これまで長年後輩指導や後継者育成に貢献し熟練技能者の養成輩出に尽力されてきた方々には、その努力に敬意を表し、技術奨励賞および技術功労賞等の表彰制度の充実にも努め、様々な機会を通じて人材の士気高揚につながるサポート施策を図ってまいります。

当協会では、「常に一貫して“安全・安心”な電気工事を施工し、質の良い作業仕上がりをお客様に提供するプロの電気工事士人材を育成サポートすること」を今年のスローガンに掲げて邁進いたします。皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びとなりましたが、本年も皆様方のますますのご発展・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。